

土砂災害警戒区域を保有する地域の 地区防災計画の作成支援について(大東市)

ちくぼう(地区防災計画)は、地区居住者等により自発的に行われる防災活動に関する計画であり、地区居住者等の意向が強く 反映されるボトムアップ型の計画です。

◆経緯

- 地区防災計画を作成を希望する地域の作成を危機管理室が支援を行っている。
- 5地区の自主防災組織が完成し、3地区が作成中

◆内容

- 計画内に
入っていた
だく内容
- 地区のタイムラインの作成(地震・風水害)
 - コミュニティハザードマップの作成
 - 個別避難計画の考え方



◆効果

- 住民の土砂災害に関して、防災意識が醸成
- まち歩きを行うことにより危険箇所の確認及び把握ができる
- 多様な住民(役員・高齢者・子育て世代・消防団等)が集まり、討議を行うことにより地域活動が活性化

作成の流れの一例

